

平成28年度山口県公立高等学校入学者選抜

学力検査の結果の概要及び今後の学習指導に向けて

平成28年4月
山口県教育委員会

目 次

ページ

○ 平成28年度山口県公立高等学校入学者選抜のための 学力検査の結果について	1
○ 各教科	
国語	2～3
社会	4～5
数学	6～7
理科	8～9
英語	10～11

平成28年度山口県公立高等学校入学者選抜のための 学力検査の結果について

1 出題の概要

平成28年度の学力検査の出題については、中学校教育の充実と発展に資するよう、中学校学習指導要領に準拠しつつ、以下のとおりとした。

- 基礎的・基本的な内容と応用的な内容について、均衡を図って出題した。
- 知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等をみる問題を出題した。

2 結果の総評

- 各教科とも基礎的・基本的な事項に関する問題については、平素の学習の成果がよく表れていた。
- 表やグラフなどの資料から分かったことをまとめて適切に表現する力をみる問題や、論理的に考えたり柔軟に思考したりする力をみる問題については、更に努力が必要な状況がみられた。
- 今後とも、学習内容と生活場面・実社会との関連を考えながら学習することにより、学ぶことの意義や有用性を実感し、学習に対する興味・関心を高めることが必要である。また、基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着を図るとともに、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を更に身に付けていくことが大切である。

国語

1 出題の特徴

- 基本的な語句の知識を問う問題に加え、登場人物の考えや表現の特徴を読み取る問題を出題した。
- 文章の展開に即して、内容を的確に読み取る力や、読み取った内容を適切に表現する力をみる問題を出題した。
- 話し合いの内容を記録した文章を読み、「言葉の力」について自身の体験にふれながら作文する問題を出題した。

2 結果の概要

- 漢字の読み書きや古文・漢文を読む上での基礎的・基本的な知識を問う問題については、よくできていた。
- 文章の展開に即して、内容を的確に読み取る力や、読み取った内容を自分の知識と結び付けて、適切に表現する力をみる問題については、いま一步であった。
- 作文については、課題を適切に捉えることができていないものも多く、必ずしも十分とはいえなかった。

3 課題がみられた問題例 《問題例①》

二 〈問題文は、田中修「植物はすごい 七不思議篇」から。ここでは省略。〉

(七) 「きびしい寒さに耐えねばならない」のはなぜか。その理由を、文章の内容に即して、五十字以内で具体的に説明しなさい。

正答例 ツボミが寒さを感じることによって、開花を抑制する物質であるアブシシン酸が分解されて消失するから。

【解答の状況】

- 「春に花を咲かせるために、花が散りやすい冬は特に寒さに耐えねばならないから」のように、文章中の表現に即した具体的な説明がない解答が多くみられた。

【課題】

文章の展開を的確に読み取り、与えられた条件に従って、適切にまとめること。

《問題例②》

三 〈問題文は、「花月草紙」から。ここでは省略。〉

(四) 授業で右の古文を学習したAさんは、この話の内容には、「灯台下暗し」ということわざに通じるものがあると考えた。Aさんは、本文のどのような内容からそのように考えたのか。四十字以内で答えなさい。

正答例 よく物を記憶して忘れない人が、いつも見ている自分の庭の様子を忘れていたこと。

【解答の状況】

- 古文の内容にふれられず、ことわざの意味のみを説明した解答がみられた。
- 解答の糸口が見いだせず、無関係な内容を書いた解答や無答が多かった。

【課題】

様々な古文に親しみ、理解を深めるとともに、読み取った内容について、自分の知識や体験と関連付けて思考を深めること。

4 今後の学習指導に向けて

○ 文章の展開に即して内容を的確に捉える力の育成

文章の中心的な部分と付加的な部分、具体的事例や筆者の意見などを読み分けることや、文脈の中における語句の意味を正確に理解し、指示語や抽象的な概念を表す語、言い換えなどに注意しながら文章の内容を的確に捉えることができるようにする。

○ 理解した内容を適切に表現する力の育成

文章の内容を要約したり、自分の考えをまとめたりする活動に加えて、言語だけでなく、図表や絵などを含めた様々な情報を活用して、目的や場面に応じた適切な言葉で自分の考えを表現できるようにする。

○ 語彙を豊かにし、思考力を養う活動の充実

読書の幅を広げることで語彙を豊かにするとともに、古典を含む様々な文章を読み比べて、構成や表現の仕方について考えたり、自分の意見をまとめたりしながら思考力を養う。

社 会

1 出題の特徴

- 身の回りの社会的事象に関心をもって学習を進め、基礎的・基本的な知識や概念を理解しているかをみる問題を出題した。
- 作業的・体験的な学習の場を設定し、学習した内容と資料を関連付けて思考・判断する力をみる問題や、資料を活用する技能をみる問題を出題した。
- 様々な資料を活用して考察した結果を適切に表現する力をみる問題を出題した。

2 結果の概要

- 基礎的・基本的な知識や概念の理解をみる問題については、おおむね良好であったが、一部に課題もみられた。
- 学習した内容と資料を関連付けて思考・判断する力をみる問題や、資料を活用する技能をみる問題については、おおむね良好であった。
- 資料を活用して考察した結果を適切に表現する力をみる問題については、必ずしも十分とはいえなかった。

3 課題がみられた問題例

《問題例①》

- 1 (略)
- (1) 図Ⅰ中のXの港を1492年8月に出発し、同年10月に図Ⅱ中のY付近の島に到達した人物は誰か。答えなさい。

正答 コロンブス

【解答の状況】

- マゼラン、バスコ・ダ・ガマなどの誤答が多くみられた。

【課題】

時代や地域の特色を理解する上で必要となる基礎的・基本的な知識や概念を確実に身に付けること。

《問題例②》

3 (略)

(1) Aには、衆議院と参議院のどちらの語が入るか、適切なものを答えなさい。また、それを選んだ理由を、メールの内容からわかる情報を用いて説明しなさい。

正答例 Aに入る語 (衆議院)
理由 27歳で当選しているから。

【解答の状況】

- Aに入る語を、参議院と答え、理由を「衆議院は比例代表制がないから」や「衆議院の被選挙権は30歳であるから」とするなどの誤答が多くみられた。

【課題】

様々な社会的事象に対して、学習した知識を活用して、多面的・多角的に思考・判断し、適切に表現すること。

4 今後の学習指導に向けて

○ 基礎的・基本的な知識や概念の確実な習得

時事的な話題や身近な生活体験などを通して社会的事象に対する関心を高め、社会科の学習を深める上での基礎的・基本的な知識や概念が確実に身に付くようにする。

○ 様々な資料を活用して多面的・多角的に思考し判断する力の育成

地図、年表、写真、新聞、統計などの資料に平素から親しみ、内容を正しく読み取るとともに、読み取った内容を他の情報と関連付けて思考し、公正に判断する力を育成する。

○ 作業的・体験的な学習活動を通して適切に表現する能力と態度の育成

観察や調査を実施し、その過程と結果を報告書にまとめ、発表するなど、問題解決的な学習活動の充実を図ることなどにより、考察し判断したことを適切に表現する能力と態度を育成する。

数 学

1 出題の特徴

- 事象の中に数量や図形の関係を見だし、数学的な表現を用いて説明する問題を出題した。
- 図やグラフの中から情報を読み取り、事象を数学的に解釈して解決する問題を出題した。
- 身近にあるものを題材として、数学的に考察し処理する中で、様々な領域の学習内容を総合的に活用して課題を解決する問題を出題した。

2 結果の概要

- 基礎的・基本的な知識・技能に関する問題については、よくできていた。
- 見いだしたことや思考の過程、判断の根拠などを数学的な表現を用いて説明する問題については、いま一步であった。
- 論理的に考えたり、柔軟に思考したりする力をみる問題については、無答が多く、いま一步であった。

3 課題がみられた問題例

《問題例①》

- 9** Sさんの中学校では、40人の小学生を招き、交流会を開くことになった。この交流会の内容として、部活動紹介、長縄跳び、扇子づくり、竹とんぼづくりを予定している。
- (3) 小学生40人全員を、扇子づくりの班と竹とんぼづくりの班に分けることにした。材料費は1人あたり、扇子づくりが450円、竹とんぼづくりが250円である。40人全員の材料費の合計を13000円とするとき、扇子づくりの班の人数を x 人、竹とんぼづくりの班の人数を y 人として連立方程式をつくり、扇子づくりの班と竹とんぼづくりの班の人数をそれぞれ求めなさい。

正答 式
$$\begin{cases} x + y = 40 \\ 450x + 250y = 13000 \end{cases}$$

扇子づくりの班の人数 15人, 竹とんぼづくりの班の人数 25人

【解答の状況】

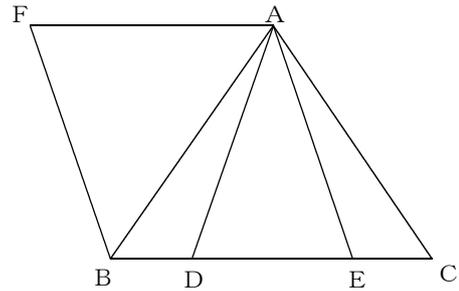
- 連立二元一次方程式をつくることはできていたが、その連立方程式の解を求めることができていない解答が多くみられた。

【課題】

加減法や代入法を用いて、連立二元一次方程式から適切に解を導くこと。

《問題例②》

- 7 右の図のように、 $AB = AC$ の二等辺三角形 ABC の辺 BC 上に、2点 D 、 E があり、 $BE = CD$ である。また、四角形 $AFBE$ は、平行四辺形である。
- (2) $AF = 3\text{ cm}$ 、 $BF = 3\text{ cm}$ 、 $BD = 1\text{ cm}$ のとき、四角形 $AFBC$ の面積を求めなさい。



【考え方】

- ① $\triangle ABD \equiv \triangle ACE$ を確認する。
- ② 四角形 $AFBE$ が平行四辺形より、 $DE = 2\text{ cm}$ 、 $AE = 3\text{ cm}$ 、 $CE = 1\text{ cm}$ を求める。
- ③ $\triangle ADE$ が二等辺三角形であることを確認する。
- ④ 頂点 A から辺 BC に垂線 AG をひき、 $AG = 2\sqrt{2}\text{ cm}$ を求める。
- ⑤ AG の長さを用いて四角形 $AFBC$ の面積を求める。

正答 $7\sqrt{2}\text{ cm}^2$

【解答の状況】

- $\triangle ABD$ と $\triangle ACE$ が合同であることや、 $\triangle ADE$ が二等辺三角形であることをどのように活用するかなどの解決の糸口を見付けることができないなどにより、無答が多くみられた。

【課題】

図形の性質を活用し、論理的に筋道を立てて考察すること。

4 今後の学習指導に向けて

○ **基礎的・基本的な知識・技能の定着**

第3学年で関数 $y = ax^2$ を学習する際に、第1学年で学習した比例、反比例や第2学年で学習した一次関数を取り上げ、それらと比較することで関数の理解を深めるなど、関連する内容を意図的に再度取り上げ、基礎的・基本的な知識・技能の一層の定着を図る。

○ **言葉や数、式、図、表、グラフなどの相互の関連を理解する力の育成**

根拠を明らかにし筋道を立てて説明し伝え合う活動を取り入れながら、言葉や数、式、図、表、グラフなどの相互の関連を理解する力を育成する。

○ **事象を数学的に表現する力の育成**

日常生活や社会における事象を数学と結び付けて考察したり処理したりする活動を通して、数学を利用することの意義を実感できるようにするとともに、数学的に表現する力を育成する。

理科

1 出題の特徴

- 自然の事物・現象について、基礎的・基本的な概念や原理・原則を理解しているかをみる問題を出題した。
- 観察、実験を目的意識をもって行い、得られた結果を科学的に考察し、表現できるかをみる問題を出題した。
- 自然の事物・現象を客観的に捉え、合理的に判断し、筋道を立てて考察できるかをみる問題、理科において学習した様々な分野の学習内容を総合的に活用して課題を解決する問題を出題した。

2 結果の概要

- 自然の事物・現象についての基礎的・基本的な事項に関する問題や観察、実験の技能を問う問題については、よくできていた。
- 観察、実験で得られた結果を基に考察し判断する問題については、いま一步であった。
- 観察、実験の目的等を問う問題については、必ずしも十分ではなかった。

3 課題がみられた問題例

《問題例①》

7

[実験]

③ 図2のように、ばねAに20gのおもりを1個つるし、ばねAののびを測定した。

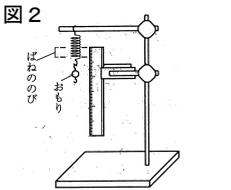


図2

(1) 図4は、[実験]の③でばねAにおもりを1個つるしたときの様子を模式的に表したものである。おもりにはたらく力を図4に矢印ですべてかきなさい。ただし、図4の1目盛りを0.1Nとする。

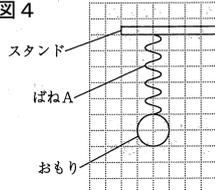


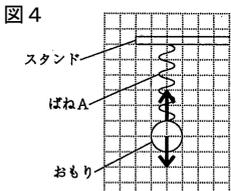
図4

スタンド

ばねA

おもり

正答



【解答の状況】

- ばねがおもりを引く力をかいていない解答が多くみられた。

【課題】

学習内容を身近な事物・現象と関連付けながら、多面的、総合的な見方を身に付けること。

《問題例②》

9 どんな金属にも抵抗があることに興味をもったYさんは、金属線の抵抗について調べることにした。Yさんは、見通しをもって調べるために、金属線の抵抗について次の仮説をたてた。

[仮説Ⅰ] 金属線の長さが変わると抵抗も変わるのではないか。

[仮説Ⅱ] 金属線の太さが変わると抵抗も変わるのではないか。

[用意した金属線]

種類：ニクロム線

太さ(直径)：0.1mm, 0.2mm, 0.3mm, 0.4mm, 0.5mm

長さ：各10m

[仮説Ⅰ] の検証

<準備>

太さが0.1mmの金属線を、1.0m, 1.5m, 2.0m, 2.5m, 3.0mの長さにそれぞれ切断し、金属線A, B, C, D, Eとした。

(4) Yさんは、[仮説Ⅰ] の検証で行った実験と同じ手順で、[仮説Ⅱ] の検証を行うことにした。[仮説Ⅱ] の検証では、金属線Aはかえずに、金属線B～Eを[用意した金属線] から新たに切り出した金属線B'～E'にかえて実験することとする。正しく検証するためには、金属線B'～E'の太さと長さはどのように準備すればよいか。それぞれ書きなさい。

正答例

	B'	C'	D'	E'
太さ	0.2mm	0.3mm	0.4mm	0.5mm
長さ	1.0m	1.0m	1.0m	1.0m

【解答の状況】

○ 金属線の「太さ」だけではなく、「長さ」もかえた解答が多くみられた。

【課題】

観察、実験において、課題解決の方法も含め、自ら工夫して取り組むこと。

4 今後の学習指導に向けて

○ 科学的に探究する活動を取り入れた観察、実験の重視

自然の事物・現象の中に課題を見だし、課題解決のために自ら観察、実験の計画を立て、条件設定を行うなど、目的意識をもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈する能力と態度を育成する。

○ 知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力の育成

身近な自然現象、身の回りの生活用品、科学技術等を授業で取り上げ、理科の学習と日常生活や社会とを関連付けながら、学習を通して得られた知識・技能を活用して課題を解決する力を育成する。

○ 科学的に考察し表現する能力と態度の育成

仮説を立てて観察、実験を行い、表やグラフの作成、モデルの活用、コンピュータなどの活用、レポートの作成や発表などを通して、科学的に考察し表現する能力と態度を育成する。

英語

1 出題の特徴

- リスニングテストでは、基礎的な事柄を扱い、「聞くこと」のほかに「話すこと」や「書くこと」を結び付けた、実際のコミュニケーションに近い能力をみる問題を出題した。
- 対話や物語などを読んで、日常的な会話表現を使う力、前後の流れから内容を判断して英語で適切に表現する力、文脈を正しく理解し、概要や要点を的確に捉える力をみる問題を出題した。
- 理解した内容について英語で発信する力をみるため、記号以外は英語による解答を求めることとした。

2 結果の概要

- リスニングテストでは、基礎的・基本的な表現を用いた短い対話を聞いて理解する力をみる問題は、よくできていた。少し長めの対話を聞き、概要や要点を捉えて英語で書く力をみる問題は、いま一歩であった。
- 資料を活用し、対話の流れに合う英文を書く問題は、対話の内容を踏まえていない解答が多く、いま一歩であった。
- 物語を読んで、英語の問いに対して適切な英語の選択肢を選ぶ問題については、おおむねできていた。

3 課題がみられた問題例

《問題例①》

1 テスト3 〈問題文、【対話】は一部省略〉

(3) 次の英文が、対話の後に流れる問いに対する答えになるように、下線部(D)に適切な3語以上の英語を書きなさい。

She _____ (D) _____ every week.

【対話】

Judy: Great! When does she teach it?

Tetsuya: She has classes on three days every week in the morning: she has one class on Tuesday, one class on Friday and two classes on Saturday.

【対話の後に流れる問い】

How many *nihon buyo* classes does Tetsuya's grandmother teach every week?

正答例 teaches four classes

【解答の状況】

- 対話の中で使われていた *three days* をそのまま使った解答が多くみられた。
- 情報を正確に聞き取れていない解答や無答が多くみられた。

【課題】

対話を聞いて、情報を正しく理解し、場面に応じた内容を適切に表現すること。

《問題例②》

3 (問題文、【対話】は一部省略)

(4) 下線部(D)に、場面にふさわしい4語以上の英語を書きなさい。

【対話】

Jane: I've checked the numbers two, three, and five.

Miki: Now look at the items you haven't checked. You'll know what to do to make your life habits better.

Jane: All right. I'll try two things: I'll get enough sunlight when I get up in the morning, and (D) .

【生活習慣チェックリスト】

チェック欄(✓)	項目番号	チェック項目
	1	朝、起きたら太陽の光をしっかりと浴びる
	2	朝食を規則正しく毎日とる
	3	定期的に適度な運動をする
	4	帰宅後は仮眠(短時間の睡眠)をとらない
	5	お風呂は早めに入る
	6	夕食後に何も食べない

正答例 I won't eat anything after dinner

【解答の状況】

- 対話の流れを正しく読み取れず、チェックの付いた項目について解答しているものが多くみられた。

【課題】

文章を資料と関連付けながら正確に読み取り、その内容について、自分の考えを適切に英語で書くこと。

4 今後の学習指導に向けて

○ **基礎的・基本的な事項の確実な定着**

基礎的・基本的な語彙や英文を学習する際に、単に暗記するのではなく、「聞く」「話す」「読む」「書く」という言語活動を適宜組み合わせるなどして、使い方を理解する経験を積み重ねることにより、確実な定着を図る。

○ **文脈に即して内容を読み取る力の育成**

一語一語の意味の確認、一文一文の解釈などの断片的な学習にとどまることなく、内容を日本語や英語でまとめる活動などを取り入れ、本文の概要や要点、筆者の心情などを文脈に即して読み取る力が身に付くようにする。

○ **情報が正しく伝わるように話したり書いたりする力の育成**

授業での教員・生徒間及び生徒同士の英語によるやりとりや、「手紙、日記、スピーチの原稿を書く」などの自己表現活動の中で、自分の知っている語彙等を活用し、伝えたいことを相手に正しく伝わるように話したり書いたりする力を育成する。